

おかえり オオサンショウウオ

6月20日、竹原野の市川で、生野小学校6年生がオオサンショウウオを放流しました。

この日放されたのは、平成19年の河川工事の際に保護された90匹のうちの40匹。日本ハンザキ研究所で飼育されていましたが、このたびオオサンショウウオが生息できる環境に配慮した河川整備が完了したため、児童の手によって川へ返されました。北川翔太君は「さわった感じはぬるぬる。元気に育ってほしい」と目を輝かせていました。



とても滑りやすく、運ぶのに苦労していました。

佐中の千年家 国登録有形文化財に



進藤家住宅 全景

「佐中の千年家」の愛称で親しまれている「進藤家住宅」（佐中区）が7月15日、国の文化審議会の議決を得て、国登録有形文化財建造物に登録すべきものとして答申されました。

進藤家は、今から630年ほど前から佐中に居住し、佐中全山林を管理。林業や製糸業を営んだほか、幕末の生野義挙に参加し、維新後に経済界で活躍した原六郎を輩出しました。本住宅は南但馬に現存する農家住宅の中で唯一、江戸時代初期建設の建物と推測されています。

初期消火に対して消防長感謝状を贈呈

火災の初期消火などに対する功績をたたえ、7月14日、市消防本部で山田卓己消防長から大垣開人さん（澤区）へ感謝状が贈呈されました。

7月1日、和田山町内で発生した建物火災において、いち早く現場に駆けつけ、的確な初期消火と家人の避難誘導、119番通報を行い、被害を最小限に食い止めました。「ケガ人も無く、火事も燃え広がらなくてよかったです。消防団員をしていた経験が生かされたと思う」と照れくさそうに話していました。



住宅用火災警報器の音で火災と確信したそうです

ようこそ朝来市へ 日本文化を体験



慈照寺で座禅を体験

東北地方太平洋沖地震の影響で中止となっていたアメリカ・オレゴン州マウント・テーパー中学校修学旅行団の来日。それでも日本を訪問したいと希望した生徒たち19人が、6月29日から7月5日まで朝来市を訪れ、梁瀬小・中学校、生野中学校生徒と交流しました。

訪問した生徒たちは市内でホームステイし、座禅や茶道の体験や、市内見学をして日本の文化を学びました。